

部長会議の概要

- 1 開催日時：平成18年4月4日（火）8：45～9：40
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 出席者：知事、副知事、出納長、各部長等
- 4 欠席者：なし
- 5 議事概要：以下のとおり
（ 議題提出部局説明・回答、 意見・質問）

（重要情報共有化）

議題1：「公共施設等への新エネルギーの導入指針」について（政策部）
資料1に基づき説明

各部が取り組むに当たり、予算措置がなされているか。

されているものもあれば、そうでないものもある。

この導入指針について各部に認識されていないのではないか。

本指針は各部から提示されたものを取りまとめたものである。

各部の進捗管理では、新エネルギーの導入は進まないのではないか。

新エネルギーの導入については各部の判断で導入促進について配慮がされている。

新エネルギー導入促進のための予算枠をとり、ルール化して進めていく必要があるのではないか。

各々の取組については、提示いただいた各部の責任のもと取組を進められたいが、全体の進め方については検討していくこととする。

議題2：科学技術週間行事について（科学技術振興センター）
資料2に基づき説明

子ども向けに何をやるのか。

チラシの裏面・表の右側に体験教室の記載がある。例えば、工業研究部は、「手作りスーパーボールを作ろう」など。

チラシに子ども向けの行事である記載がない。子どもへの参加の呼びかけが全然ない。

発明協会も行事をしようと思うが、発明協会との連携事業をやってはどうか。「知的財産」とか言っているのだから、そういう部分ででも。行政だけでやっていて、「おしきせ」みたいに見える。新しい時代の公ということもあり、外とやっていく「視点」

はないのか。センターの中身を知ってもらいたいということはわかるが、学校とか発明協会とかと協働してやっていくことも考えてはどうか。

検討する。

22日には県民の日行事がある。今年は防災危機管理部の担当だが、そのタイアップ事業にしたらどうか。時期的に遅いかもしれないが。

大事なことである。新しい時代の公の視点でやっていくことは大切なことである。科技センターが予算を出して、科学技術週間として、県民といっしょに行うことにしてもよい。ちなみに予算はいくらか。

30万円ほどである。予算の少ない中でやっている。進化させていくよう、今後の検討課題といたしたい。

議題3：平成18年度からの会計支援体制と会計規則等の全面改正について(出納局)
資料3に基づき説明

建設工事は、会計規則と別規程となるのか。

県土整備部には、公共事業関係の規程がある。共通する部分は会計規則で規定するが、その他の公共事業専用の規定は別規程となる。

それは、出納局で作るのか。

関係部と連携してやっていく。

以上